

教師ノート

日付	2021年 9月12日
単元	伝道メッセージ
テーマ	救い
タイトル	救われるって
テキスト	Iコリント10:13、ヨハネ3:16-17
参照箇所	ヨハネ16:33、ルカ18:27、ローマ10:10
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	ヨハネ3:16
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	

□導入

教会に来ると、「救われる」ってよく聞くよね～。救われるって、どういうこと？気持ち良くなること？何から救われるんだろう？特に困っていなかったら、救われる必要ってないのかな？「救われる」ってなんだろうね。イエスさまは「救い主」って言うけど、何から救ってくれるのかな？救われたらどうなるのかな？

□ポイント1 イエスさまは、罪と死と滅びから救ってくれます(ヨハネ3:16)

数年前の統計なんだけど、1544人の小学生が家出をして、保護者が捜索願を警察に出しているんだって。中学生だと7000人を越えています。この数字は、捜索願を出している数だから、実際には3-4倍ぐらいの家出をする小中学生がいるんだって。家を出たくなる辛いこともあったかもしれませんが、「プチ家出」のように、ちょっとしたことが嫌になって家を出たのかもしれませんが。捜索願を出している保護者の方々は、心配で仕方ないと思うんです。そして子どもを愛している親であればほど、どうして家出をするんだろうって悲しくなるだろうね。

神さまは私たちが造られた造り主(創造主)です。天におられる父なる神さまは愛をもって私たち一人一人をお造りになりました。その造り主である父なる神さまを信じないで、「本当の神さまなんて知らない！」って生きている、それが罪なんだよ。悪いことをすることも罪って言うんだけど、聖なる神さま、正しい神さま、愛の神さまを信じないで、神さまから離れて生きているから、人は悪いことをしてしまうんです。

ある人は、罪は「生ゴミ」のようなものだって言いました。生ゴミをゴミ箱に入れなかったり、部屋の真ん中においているとどうなりますか？・・・そう汚くなる、臭くなる、虫がわいてくる・・・そして病気になってしまいます。私たちが神さまを信じないで生きていると、心の中は生ゴミのようなものでいっぱいになって、どんなに隠してもやがて腐ったような臭いがしてきます。「臭いものにはフタをすればいい」と思って隠していても、どんどんどんどん不潔なもの、きたないものでいっぱいになります。

では生ゴミをどうしたらいいかな？そう、ちゃんと捨ててゴミ収集車に持って行ってもらったらいいよね。イエスさまは、私たちの心の中にあるゴミのように汚い罪を背負って十字架にかかってくれました。イエスさまは、みんなが神さまを信じないで、心の中が汚く臭くならないように、私たちの心にある罪を全部背負って十字架にかかって下さいました。みんなを愛しているから、罪をもったまま滅んでほしくないから、「わたしが全部、みんなの罪を背負うよ」と言って、私たちが罪をおかしたために受ける罰も、滅びも全部代わりに引き受けてくれました。

イエスさまは神さまの子だから簡単なことだったのでしょうか？そんなことはありません。みんなのことを愛しているから、苦しみを背負って身代わりとなって下さったのです。私たちのために汗が血のように流れるほどに祈られ、ムチ打たれ、十字架にかかってくれたのです。このイエスさまを救い主と信じるとき、私たちの心にある罪、その結果の滅びからも救われます。イエスさまは救いの道を開いてくれました。

□ポイント2 イエスさまは、つらいことや大変なこと(試練や困難)から、助けてくれます(Iコリ10:13)

「救い」という言葉には、助け出されるという意味もあります。罪や滅びから救ってくれたイエスさまは、私たちがつらいことや大変だなあと思うことを体験した時、私たちを助け、救い出してくれます。

みんなは今、10歳？20歳の大人からみたら半分(50%)、40歳の大人からみたら1/4(25%)の年齢だよ。60歳や70歳の人からみたら、「人生これから、まだまだ」ってきっと思うかもしれないね。でも、10歳のみんなにとって10年間は100%だよ。子どもには子どもにとってつらいこともあると思う。嫌だなあ、しんどいなあって思うこと、投げ出したくなることや、生きていても面白くないなあて感じることもあるかもしれません。そんな時、「イエスさまー、助けて下さい！」ってイエスさまの名前を呼んでお祈りしてみてください。お祈りが上手にできなくても大丈夫です。正直に困っていることをそのままうちあげたら、神さまは不思議な方法で助けて下さいます。教会で覚えた暗唱聖句や賛美を歌ってみてください。イエスさまを思いおこし、イエスさまを求めていく時、イエスさまは救い主だから、助けてくれます。

☞ 電動アシスト自転車って知ってますか？自分の力だけではなくて、電気の力でアシスト(補助)してくれる自転車です。最初の頃は人間の力が1に対して電気の力も1だったんだけど、今は時速10キロまでは人間の力が1に対して電気の力が2になったので、今までよりもさらに楽に坂道を登れるようになりました。……イエスさまを信じて教会に来ていたら、苦しいこともなくなり、人生は楽しいことばかりでバラ色のようになる……というわけではありません。雨の日も嵐の日もあれば、坂道も登るし、つらいことも嫌なこともやっぱりあります。それでもイエスさまは、イエスさまを信じる人を無視しません。イエスさまは電動自転車じゃないけれど、信じる私たちと一緒にいてどんな山も乗り越える力を与えてくれます。こんなに力強いことはありません。イエスさまは神の子だから、どんなにつらいことがあっても、慰め励ましてくれる救い主です。

□ポイント3 イエスさまを信じて救われると、永遠のいのちが与えられます (ヨハネ3:16)

私たちの人生は、1回限りです。前世とか何かに生まれ変わるということはありません。みんなは世界中でただ1人ですし、他の誰かになることもありません。かけがえのない神さまに愛されている1人1人なのです。そして私たちの人生は、みんな1回だけです。それは神さまを信じている人も信じていない人も同じです。でも私たちのいのちは、イエスさまを信じているなら、滅びではなく、死んでしまっても終わりではなく、永遠のいのちが与えられます。神さまがおられるすばらしい天国へ行くことができるのです。天国では食べものに困ったり、ケンカや戦争もありません。病気も悲しいこともありません。神さまを真ん中にして、喜びがいっぱいにあふれています。イエスさまを信じて救われた人は、もう一度、天国で再会し、喜びあうのです。

人は罪をおかしたために「死ぬ」ことになりました。でもイエスさまは罪と死を背負われて十字架にかかれたので、イエスさまを信じる人は死んで終わりではなく、永遠のいのちを持つことができるのです。永遠のいのちって、単にいつまでも長い間生きているということではなく、神さまのことを深く知り、神さまといつまでも一緒にいることで、私たちのいのちが輝いて、喜んで、嬉しい状態のことです。だからイエスさまを信じて救われて永遠のいのちが与えられたということは、「あー生まれきて良かった。今、生きていることが嬉しいなあ。これからは喜んで生きていける」、そういういのちの喜びが与えられているということです。

□結論 イエスさまは、救い主です。イエスさまを信じる時、私たちは救われます。

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

1. 心の中に生ゴミのようなものはありますか？

意地悪をしてしまったこと、人を傷つけたこと、お父さんやお母さんに汚い言葉を言ったこと、嘘をついて友だちをだましたこと、誰かのものを盗んだこと、カンニングしたこと、ズルをしたこと、……そういう心をそのままにしていると、どんどん私たちの心は臭くなっていきます。イエス様の十字架の血潮は、全ての罪から私たちを清めます。今、心の中に思い浮かんだ罪を正直に神さまに「ごめんなさい」と言って祈ってみましょう。神さまはゆるしと平安を与えてくれます。

2. しんどいなあ、もう嫌だなあと思っていることは、ありますか？

学校に行けなくなるくらい辛いこと、もう生きているのもしんどい、どうして生まれてきたんだろう、そんなことを思う小学生がいます。「イエス様、助けて下さい！救って下さい！」そう祈ってみましょう。イエス様は救い主です。みんなを救う神の子です。必ずぼくたち私たちが助けることができるお方です。

3. 死んだらどうなるんだろう？死ぬことに不安や恐れを感じていますか？

どんな人もいつか死を経験します。でもイエスさまが死を打ち破ってよみがえられたので、イエスさまを信じる人は、永遠のいのちが与えられ、天国へ行くことができます。滅びに向かってではなく、一緒にイエスさまを信じて天国行きの切符をいただきましょう！

イエスさまを信じる人は手をあげてください。一緒に目を閉じてお祈りしましょう。